

さくら ほっと NEWS

紹介

- ▶ 新看護部長に聞く
～患者サービス担当副院長としての役割～

ワンポイント

- ▶ 立ち上がりを楽しみ助する方法 P.2

特集

- ▶ 生活習慣病を予防しよう! P.3

お知らせ

- ▶ 肝疾患相談室を開設しました
- ▶ 駐車場等の整備について P.4

理念

当病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成します

基本方針

- ・ 大学病院として、高度先進医療を提供します
- ・ 高度情報化を進め、安全で開かれた医療を提供します
- ・ 医学教育を充実し、高い倫理観を持ち信頼される医療人を育成します
- ・ 名古屋都市圏の中核医療機関として、市民の健康と福祉を増進します

名古屋市立大学病院

患者さんの権利等

患者さんの権利

- | | |
|---|---|
| <p>良質の医療を受ける権利
情報を知る権利
選択の自由の権利
自己決定の権利
機密保持を得る権利</p> | <p>患者さんは、人格や意思が尊重され、質の高い医療を平等かつ安全に受けることができます。
患者さんは、ご自身の病気や治療について知ることができるとともに、十分でわかりやすい説明を受けることができます。
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身で選択し変更することができます。また、他の医師の意見を求めることもできます。
患者さんは、ご自身の受ける治療について、ご自身の意思に基づいて決定することができます。
患者さんのプライバシーは十分に尊重されるとともに、個人情報厳正に保護されます。</p> |
|---|---|

患者さんへのお願い

- 病院の規則や治療上必要な指示・助言を守って療養してください。
- ご自身の健康状態について、できるだけ正確に伝えてください。
- 説明を受けても十分に理解できない場合は、納得できるまでお尋ねください。
- 他の患者さんの権利を尊重し、暴言・暴力等の医療の妨げとなるような行為は行わないでください。
- 大学病院として医療スタッフを育成するため教育実習を行っていますので、ご理解とご協力をお願いします。



vol.6
2008年8月

新看護部長に聞く ～患者サービス担当副病院長としての役割～

当院では、患者サービスの向上を図るため、看護部長が副病院長（患者サービス担当）として就任し、患者さんの視点に立った医療・看護の実践に努めています。

このたび、平成20年4月から副病院長（患者サービス担当）兼看護部長となった岩田広子看護部長に、お話を伺いました。

他病院で勤務された経験もある岩田看護部長から見て、今の市立大学病院をどのように感じますか

患者さんの出入りも多く、市立大学病院に対するニーズが高いことを感じました。どの課題にもいろんな職種が交わって前向きに検討していることがよく伝わるし、とても私の好きな雰囲気です。医師・看護師・薬剤師などのチームワークの良さを以前よりすごく肌で感じています。大学病院というのは教育・研究・学問を通してお互いを高め合うというのを再認識しました。

患者サービス向上という点で、具体的にどのような活動をしていますか

患者サービスを向上するためには、まずは看護師と看護の質の向上だと思っています。具体的には人員の確保、配置や研修への派遣等を副看護部長と協力して行っています。また救急車への看護師が同乗する体制は、患者さんの不安を解消する、安心を得られることから取り入れました。ベッドサイドや病棟でしか分からないことも多いので、よく足を運ぶようにしています。

副病院長・看護部長兼務としての目標を教えてください

患者さんが気持ちよく過ごすことができ、看護師・他の職種も気持ちよく仕事ができる病院にすることが最大の目標です。それにはいろんな仕組みを整理していかないといけません。今やっていることを広い視野で見て改善していきたいと思います。

患者さんへのメッセージを一言お願いします

市立大学病院のスタッフはとにかくやさしい。こんな病院は他にはありません。地域の方々にはぜひ安心して受診していただきたいと思います。

岩田 広子

副病院長(患者サービス担当)兼看護部長

経歴

昭和63年～平成16年3月

名古屋市立大学病院 看護師長

平成16年4月～平成18年3月

名古屋市立城西病院 副看護部長

平成18年4月～平成20年3月

名古屋市立城西病院 看護部長

平成20年4月～

名古屋市立大学病院

副病院長(患者サービス担当)兼看護部長



ワンポイントアドバイス

立ち上がりを 楽に介助する方法

私たちは、日常生活のなかで何度も、立ち上がったリ座ったりする動作を繰り返しています。足腰が弱くなってくると立ち上がりにくくなり、立ち上がりを介助するときに、ひと苦労することがあると思います。そこで、人が立ち上がる動作を思い浮かべてみましょう。リラックスしてイスに座っている姿勢から、両足を引いて、頭を膝の前に出しながら腰を上げて、立ち上がります。

リラックスした姿勢



両足を引く



頭を膝の前に出しながら腰を上げる



立ち上がる



立ち上がりを介助するときも、この動作と同じように、両足を引かせ、前傾姿勢をとらせ、腰を上げていきます。ちょっとしたコツで、ご家族の方の負担が少なく、安定した立ち上がりが介助できると思います。

退院などで、在宅介護でお困りの際は、看護師にご相談ください。【看護部】

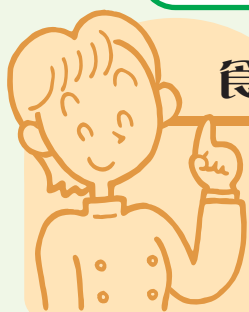
生活習慣病を予防しよう！

最近、「生活習慣病」「メタボリックシンドローム」といった言葉をよく耳にするようになりました。今年4月から医療保険者（国民健康保険、政府管掌健康保険など）に、40～74歳の被保険者・被扶養者を対象とした健康診査（特定健康診査）と保健指導（特定保健指導）の実施が義務付けられたこともあり、関心のある方もいらっしゃるのではないでしょうか。

生活習慣病とは、「糖尿病・脂質異常症・高血

圧・高尿酸血症・肥満症など、生活習慣が発症原因に深く関与していると考えられている疾患の総称である」と定義されます。また、これらの疾患が合併することにより心筋梗塞や脳梗塞など重篤な血管性病変が起こりやすい状態をメタボリックシンドロームと呼びます。個々の疾患を個別に治療することも大切ですが、その根幹にある内臓脂肪肥満を食事・運動療法によって解消することがさらに重要であると言えます。【内分泌・糖尿病内科 今枝】

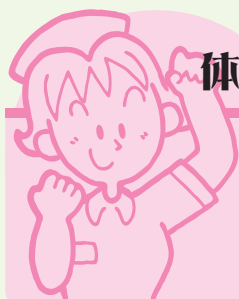
始めてみませんか？～小さな心がけが大きな一歩！～



食事に気をつけてみよう！

～管理栄養士からのアドバイス～

生活習慣病を予防するためには、バランスの良い食事を心がけることが必要です。今、健康の保持・増進を図るため、「食」が見直されています。「食」に対する情報も多く、いろいろな食品を手にし、口にすることが増えています。そんな中で「何を」「どれだけ」食べたらよいかの選択・判断は、「難しい」と感じられている方も多いと思います。まず、手始めに「食」について、興味を持つこと、そして、自らの食について考える習慣をつけてください。【医事課 栄養管理係 太田】



体を動かしてみよう！

～看護師からのアドバイス～

「生活習慣病」という言葉を耳にする機会が増え、関心をお持ちの方も多いと思います。生活習慣病の改善のために必要な治療法のひとつとして、運動療法があります。運動療法は特別なものではなく日々の生活自体が運動になり、無理のない運動を生活に取り入れて継続していくことで効果が高まります。ジョギングや水泳などハードなものではなくても、椅子に腰かけて足を上下に動かすことや、足踏みをすることも効果があります。【看護部 西洞・谷口】

当院の取り組み

糖尿病・腎臓病グループ指導

要 予 約

参加費有料

対 象：現在、糖尿病・腎臓病の治療を受けている方

費 用：糖尿病・腎臓病ともに1クール4回で約3,000円（保険診療等による初診料等、3割負担の場合）。

糖尿病・腎臓病各専門医や歯科医師、薬剤師や管理栄養士など各分野のスペシャリストによる指導や試食など実践的な内容で、10人くらいの少人数で行っています。ご希望の際は、主治医にご相談ください。また、他の医療機関からの紹介による患者さんもご参加いただけます。申込方法や今後の開催予定など、詳しくは、当院のホームページをご覧ください。

糖 尿 病 教 室

予 約 不 要

参加費無料

対 象：どなたでも参加できます

当院では内分泌・糖尿病内科が中心となり看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・理学療養士と豊富な職種でチームをつくり、糖尿病教室を年3回開催しています。生活習慣病の代表格である糖尿病の話題を中心に、合併症や治療法など毎回テーマを変えて講演し、予防や治療に役立てていただくことを目的としています。次回は平成20年9月に開催予定です。院内にポスターを掲示しますので、見かけましたら是非ご参加下さい。

肝疾患相談室を開設しました

当院は、平成20年4月1日に愛知県における肝疾患診療連携拠点病院に指定されました。その指定要件として、①専門的な医師（肝臓専門医）による診断と治療の方針の決定が行われていること、②インターフェロンなど抗ウイルス療法を適切にできること、③肝がんの高危険群の同定と早期診断を適切に実施できること、の3つが掲げられており、当院は十分満たしていると認められたものです。

当院の役割としては、①肝疾患相談体制の整備、②肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会の運営、③肝炎診療従事者等への研修の実施がありますが、このうち患者さん向けの事業として、7月1日に肝疾患相談室を開設しました。肝臓の病気に関することについて、専任の相談員がご相談に応じます。ご遠慮なくご利用ください。



場 所	病棟・中央診療棟1階
相談時間	平日9時～16時（12時～13時を除く）
電話番号	052-858-7138（直通）

駐車場等の整備について

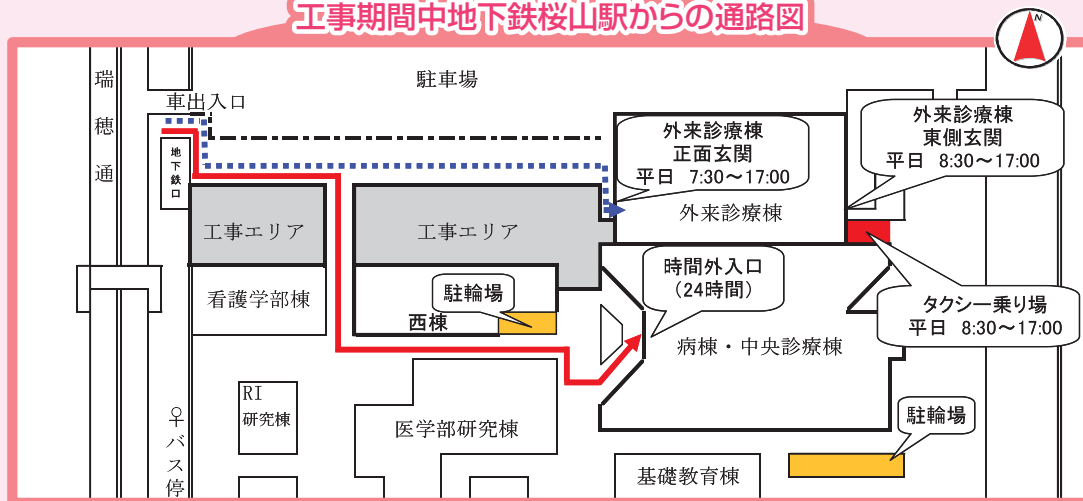
当院では、病院敷地内において平成21年3月までの予定で駐車場等外構整備工事を行っております。完成後には、以下のようにリニューアルし、ご来院の皆様にとってより便利になります。

- ・1台あたりの駐車スペースを現在より広くし、駐車台数も350台程度に増やします。
- ・地下鉄桜山駅から病院玄関まで屋根付きの通路を設けます。雨天時にも傘を開くことなく病院までお越しいただけます。
- ・外来診療棟北側に屋根付きの来院者用駐輪場を設けます。
- ・緑地を増やします。

現在、工事に伴い、病院までの通路や来院の方の駐輪場を下図のように変更しております。今後も工事の進捗に伴って、通路や駐車場エリアが変更となる予定ですので、お越しの際は、案内表示に従っていただくようお願いいたします。

何かとご不便をおかけいたしますが、よろしくご協力をお願いいたします。

工事期間中地下鉄桜山駅からの通路図



・土日祝日および時間外に来院される方は、病棟・中央診療棟の時間外入口（赤い実線）の経路でお越しください。

名古屋市立大学病院

検索

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/>



このQRコードをケータイで読みとると簡単にホームページが見られます。

ホームページの検索方法の案内『名古屋市立大学病院』で検索

クリック

名古屋市立大学病院 さくらほっとNEWSへのご意見・ご感想をお寄せください。E-mailは hotnews@med.nagoya-cu.ac.jp まで！